

介護実習Ⅰ・Ⅱ実施要項

1 実習のねらい

- 1年 ・施設の理解を深め、介護職員の業務内容について理解することができる。
・利用者の状態・状況について理解するために、コミュニケーション技術の基本を習得することができる。
- 2年 ・学校で学んだ介護技術が現場ではどのように行われているか理解し、実践することができる。
・多職種協働及びチームケアについて理解することができる
・介護過程実践のために必要な知識や技術を習得することができる。
- 3年 ・個別ケアを実践することができる。
・利用者のニーズを理解し、介護過程を実践することができる。

2 実習実施期間 1年生 8月下旬・9月下旬 合計9日間

2年生 6月上旬・7月中旬～下旬・8月上旬 合計19日間

3年生 6月上旬・7月中旬～下旬・8月上旬、下旬 合計23日間

3 実習の心得

- (1) 服装や身だしなみ等については、実習施設のルールを必ず守ること。
- (2) 指示を待つのではなく、積極的に指示を仰ぐように努めること。
- (3) 勝手に判断せず、積極的に質問し、アドバイスを受けること。
- (4) 挨拶は心をこめて自分から先にすること。また、会話は敬語を用いて話をする。
- (5) 実習中に知れたすべてのことについて実習終了後もSNS等に投稿しないこと。守れない場合は実習が中止になることがある。(秘密保持義務)
- (6) 利用者には、感謝の気持ちをこめて、常に笑顔で接する。
- (7) 自己の貴重品の保管に十分注意すること。
- (8) やむをえない理由で欠席・遅刻・早退をする時は、実習先の指導者と学校担当者に必ず電話で連絡すること。
- (9) 利用者に怪我をおわせたり、自分が体調をくずしたりするなど、思いがけないことが起きたら、施設担当者の指示に従い、その後、学校の担当者に連絡すること。
- (10) 携帯電話（スマートフォン含む）の使用厳禁とする。

4 携行品

介護実習の手引き・介護実習ノート・アセスメントシート・印鑑・エプロン・筆記用具・国語辞典
健康保険証（または写し）・実習着・着替え（下着・タオル等）・白ソックス・実習靴・靴袋・昼食他

5 評価の観点

- (1) 意欲的に取り組む姿勢が見られたか。
- (2) 職員・利用者・実習生との協調性がみられたか。

- (3) 利用者のプライバシー保護に配慮できたか。
- (4) 規則を守り，礼儀正しく接遇できたか。
- (5) 自分の健康に留意できたか。
- (6) 自分の立てた1日の目標が効果的に実施できたか。
- (7) 自分の行った1日の実習内容を客観的に実施できたか。
- (8) 利用者の話を聴くことができたか。
- (9) 挨拶や自己紹介などの利用者に自分からかかわっていくことができたか。
- (10) 利用者との意思疎通の図り方が理解できたか。
- (11) 利用者の生活状況が理解できたか。
- (12) 利用者の基本的な介護ニーズを知ることができたか。
- (13) 環境を整える必要性を知り，実施できたか。